

ゴミ減量化対策は 分別収集の手引きなどで啓発を



勝山 制 議員



みんなで協力を

Q ゴミの分別推進と資源の有効活用では、

ゴミの収集所の整備、分別収集体制の充実、住民の意識の高揚を図るとともに、生ゴミの堆肥化など総合的に進め、減量化の取組みを伺う。

①可燃ゴミ、不燃ゴミ、資源ゴミ、粗大ゴミなど過去3ヶ年の収集状況を伺う。

②レジ袋削減減化取り組み状況を伺う。

③給食センターでのゴミ減量化取り組み状況を伺う。

A ①可燃ゴミ、不燃ゴミ、資源ゴミ、粗大ゴミの過去3カ年のゴミの収集量は、

ほぼ横ばいの状況でありますので、来年度「ごみの分別収集の手引き」を全世帯に配布し、ゴミの減量と分別について啓発を行います。

②レジ袋削減減化取り組みについては、5月1日より、町内の協力店にて実施いたします。

③給食の食べ残しは、平成19年度約8トンあったが前年度に比べ減少しています。

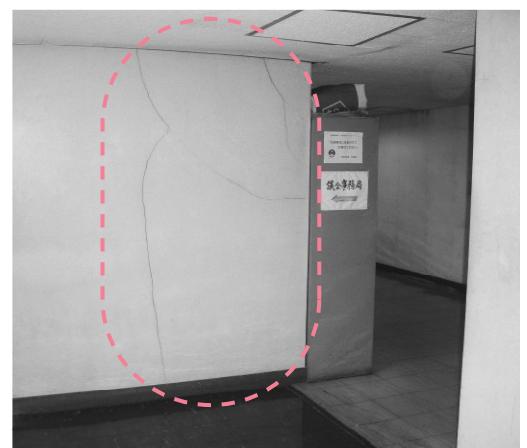
食べ残しを減らすためにも、おいしい給食づくりに努めます。

庁舎建設計画の取り組みは 住民の意見を広く集めて

Q 現在、阿久比町庁舎は大規模な耐震補強をすべき危険な建物です。また災害時には対策本部として重要な役割を果たす。町民が気軽に立ち寄れる、開かれた庁舎建設を期待する。

①阿久比町の将来像は。
②庁舎建設基金の目標は。
③現庁舎の耐震工事を考えているか。
④住民のプランニング参加の考えは。
⑤専門職員の登用の考えは。

A 住民の皆様を広く集める必要がある。①将来人口については、第5次総合計画を策定する中で検討していきます。②建設費は庁舎建設の場所や規模によって大きく変わります。平成21年度末の基金の現在高見込みは10億円に達します。③費用対効果を考えると現庁舎の耐震工事は考えていません。④住民の皆様意見を広く集める必要があります。⑤庁舎建設に対しての専門職員の登用は考えていません。



庁舎内のクラック